

## 令和5年度地域包括支援センターの事業評価について

### 1 概要

地域包括支援センターの事業評価は、地域包括支援センターが実施する事業や提供するサービスの成果・課題を分析し、地域包括支援センター機能の向上及びサービスの質の向上を目指すために毎年実施されます。

### 2 評価対象

市内地域包括支援センター 全9か所

### 3 評価対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

### 4 評価方法

令和5年度の地域包括支援センター事業について、国が示す全国統一の指標（業務チェックシート）を利用して業務の実施状況を振り返り、各地域包括支援センターは自己評価を行いました。地域包括支援センターの全体評価値は、9か所の平均とします。

### 5 評価スケジュール

令和6年4～5月 各地域包括支援センターにて自己評価（令和5年度分）  
 令和6年7月 事業評価を国に提出  
 令和7年2月 国から国全体の事業評価の結果受領

### 6 評価結果

別紙のとおり

#### 【昨年度より向上した項目】

「2（4）地域ケア会議」

全ての地域包括支援センターが多職種と連携して個別事例の検討を行い、地域における課題を検討した。

「2（5）介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」

全ての地域包括支援センターが地域とのつながりを考えたケアプランを作成した。

「3 事業間連携」

全ての地域包括支援センターが医療関係者との勉強会等に参加した。

また、地域ニーズの把握や社会資源について地域住民や関係機関等と協議した。

#### 【改善を要する項目】

「1 組織運営体制等」

一部の地域包括支援センターで3職種の欠員が生じていた。

「2（1）総合相談支援」

相談事例の終結条件を市と協議して決めていなかった。

「2（2）権利擁護」

成年後見制度の判断基準を市と協議して決めていなかった。

「2（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援」

一部の地域包括支援センターが介護支援専門員のニーズに基づき、多様な関係機関等との意見交換の場を設けていなかった。

## 7 改善に向けた取り組み

今回の評価結果から、以下の改善に取り組み、地域包括支援センターの事業が効果的かつ効率的に運営ができるよう、機能の向上とサービス向上に努めてまいります。

### 1 組織運営体制等

地域包括支援センター人員配置について、常勤換算方法の導入により、柔軟に対応します。また、求人募集を市公式ホームページへの掲載、受け入れた実習生の学校へのアプローチを行うなど、人材確保に努めます。また、離職防止策として、新人研修やスキルアップのための研修等を市と地域包括支援センターで協働して実施します。

#### 2（１）総合相談支援

相談事例の終結条件については、令和6年度中に市と地域包括支援センターで協議し基準を作成しました。基準は「令和7年度入間市地域包括支援センター運営方針」に明記し、令和7年度から取り組みます。

#### 2（２）権利擁護

成年後見制度の判断基準については、市と地域包括支援センターで協議し、利用者の認知・理解度や金銭管理面及び必要なサービス等を確認するフローチャート図を作成します。

#### 2（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域包括支援センターが実施している主任介護支援専門員会議においてニーズを把握すると共に、住民や関係機関が参加している地域ケア会議等を活用して意見交換の場を設けていきます。